

【小学生の部】

「なりすまし詐欺」を防ぐには

須賀川市立第二小学校6年 近^{こんない}内^{まさひで} 正 英

なりすまし詐欺の被害がなかなかなくなるならない。新聞にも「防げ !! 成り済まし」というコーナーもあるくらいで、今日見た新聞にも僕の住む須賀川で不審電話があったと記事に載っていた。僕の祖父母（じじとばば）の住む玉川の家にも「なりすまし詐欺」の電話がかかってきたことがある。

「おれだけど、会社のお金をなくしてしまったから、今から郡山駅にお金を持ってきてほしい。」

じじが電話に出た。「誰だ？」と言ったら相手は聞き取れない言葉をもごもご言っていたそうだ。名前を言わない相手にじじがだんだん怒ってきて「○○か？」とおじさん（父の弟）の名前を言ってしまった。そうしたら相手もそれに合わせてきた。おじさんの職業は会社員ではないので、「おかしいな？」とばばは思ったそうだ。でもおじさんが心配だから・・・という気持ちの方が強くてJAにお金を下ろしに行った。定期預金を解約しようとしたところ、JAの職員の人が変と思って警察に通報してくれた。おじさんや僕のお父さんのところに確認の電話がきて、なりすまし詐欺だということが分かった。被害はなかったけど、お金を取られていてもおかしくないところだった。

なりすまし詐欺を防ぐために、まず家族との連絡をしっかりと取れるようにしておくことが大事だ。僕の祖父母は、父方も母方もどちらも祖父母だけで暮らしている。二人暮らしだ。いっしょに暮らしていなくて、あまり連絡もしていないと、子どもから「お金を持ってきてほしい。」という助けを求める電話があったら助けてあげたくならないかと思う。知らない番号からの電話でも「電話番号が変わった。」と言われると信じてしまうかもしれない。本当に電話番号が変わったときにはちゃんと連絡するようにしていれば、そんな言葉にはだまされなくなる。祖父母の家でも、詐欺の被害にあいそうになった後には、お父さんやおじさんの連絡先を紙に書いてはっておくことにした。変な電話があったときは必ず確認をするように決めた。

他の対策として、電話を留守番電話に設定しておくのがよいと思う。知らない番号からの電話は留守番電話の録音になるのを待つ。そして、相手と用件が分かってから出ればいい。詐欺の犯人だったらメッセージを残すことはないし、そのあとも電話をかけてこなくなるかもしれない。

調べてみたら、令和二年のなりすまし詐欺の被害額は約二百八十億円だった。ここ数年は被害が減っているけど、まだまだなくなっていない。玉川に電話をかけてきた犯人もつかまっていない。悪い犯人たちにもうだまされないために、はなれていてもまれに連絡して、家族のきずなで防ぐのが一番だ。